

MOBILE SUIT VARIATION NEW **MSV** HAND BOOK 1

リアルマーキングシール付

U.C.0153

モビルスーツハンドブック



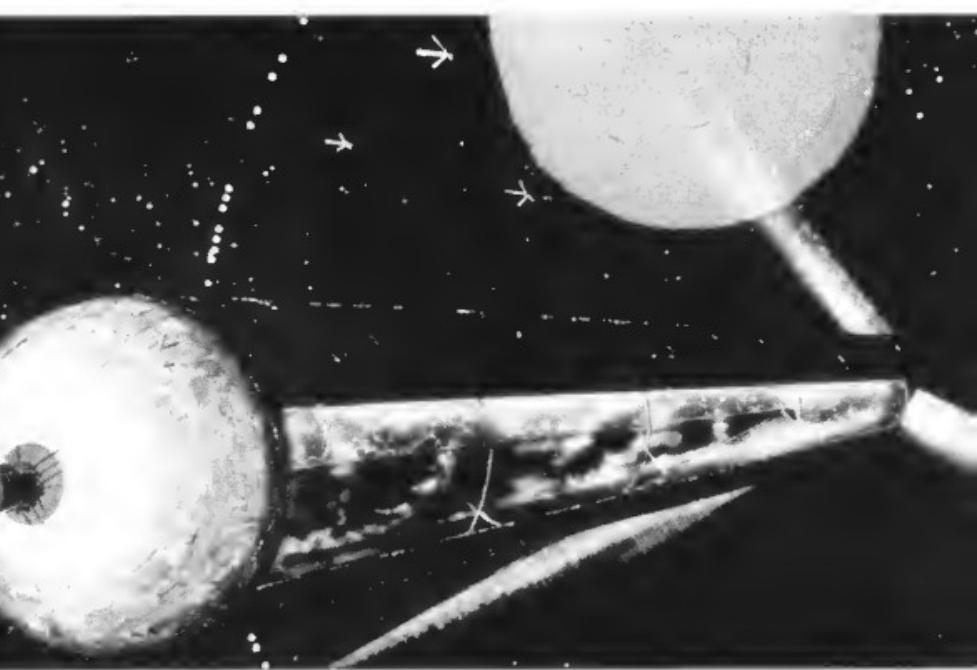
ザンスカール帝国軍(BESPA) 地球侵攻作戦開始!

宇宙世紀——人工宇宙都市・スペースコロニーの完成により、宇宙への移住を可能にした人類は、その生活圏を宇宙空間へと広げていった。

地球周辺に浮かぶ無数のコロニーの群れは、サイドと呼ばれる自治区分とに区分されている。遠く木星圏までのびた宇宙資源の開発による自給自足体制が、人類の多くを占める宇宙移民者たちの生活を支えていたのである。

しかし、永きにわたる地球連邦政府による地球圏の統治は形骸化し、政治、経済、文化、産業とあらゆる面で沈滞を生み出していった。そして、抗争は月の軌道上にあるサイド2から起つた。七十、八十年のスペースコロニーからなる、このコロニーに住む人々は、地球連邦政府の行政に不満を抱いていた。フォンセ・ガチが作つた政党、ガチ党は、マリア・アーモニアを女王に擁立、サイド2のほぼ全域を支配下におさめ、サンスカール帝国の建国を宣言した。

サンスカール帝国は、宇宙の新たな秩序作りに向つて、地球にその勢力を伸ばし始めたのである。



ベスバ機動兵器・型式番号の読み方

例、シャッコー(ZMT-S12G)の場合

■所属・サンスカール帝国

■MOBILE(モビル・機動兵器)

■TEST(テスト・試作機の場合)

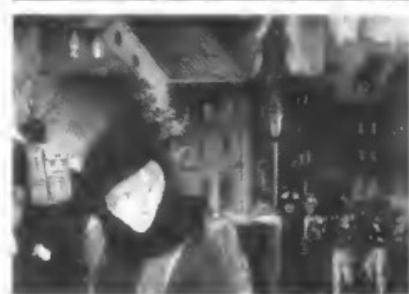
ZMT-S12G

■機体種別	■開発番号
S・SUIT(モビルスーツ)	
A・ARMOR(モビルアーマー)	
O・DUAL(デュアル)	
1つの機体で、M.Sと	■使用環境
M.Aの性能を保有する	S・SPACE(宇宙用)
	G・GROUND(大気圏内用)
	M・MARINE(水中用)

ベスバが東欧のラグーンに降下したのは、この地の飛行場を前進基地にするためだった。地球連邦政府が管理する特別居住区ウーリングとそれに関連する施設の制圧が目的だが、さらにウーリング周辺に潜伏する反サンスカール及び反地球連邦政府の抵抗組織を叩くという狙いもあったようだ。

BESPAという組織は、Ballistic Equipment & Space Patrol Armoryの略で「弾道研究と宇宙偵察部隊本部」の意。サンスカール帝国が、サイド2に駐留する地球連邦軍を接収した際、その旧式となりつつあった軍備の再編のために組織した機関。『サンスカール帝国軍』なのである。

MOBILE SUIT V-GUNDAM



リガ・ミリティア機動兵器・型式番号の読み方

例. Vダッシュガンダム
(LM312V04+SD-VB03A)の場合

■所属・リガ・ミリティア

■ユニット数(本体分離数)

■生スラスター

■ジェネレーター数

システム数

LM312V04+

■タイプ表示

V0-

ヴィクトリーゼロ

E0-

イージゼロ

V2-

ヴィクトリー2

DEVICE-

(サポート

ディバイス)

■形式ナンバー

+SD-VB03A

■タイプ表示

ブ-

スター

●用途表示

A・アタック

B・ポンバー

C・クルーズ

D・レコン

地球連邦機動兵器・型式番号の読み方

例. ジェムズガン(RGM-119)の場合

■所属・地球連邦

■開発番号

RGM-119

■生産表示
GM・量産
X・試作

* 地球連邦は常に数社に
競合で開発を依頼した
ため、年代とメーカーで
型式番号が異なる。

地球連邦政府軍は弱体化しており、ベスバの先遣隊イエロージャケットの攻勢には、なす術がなかった。だが、リガミリティア(神聖軍事同盟)といわれる抵抗組織が、連邦軍に代わってベスバに立ち向かおうとしていた。リガミリティアには、連邦軍の退役軍人やモビルスーツを製造していた民間企業出身のメンバーが多くいて、独自の技術でベスバの最新型MSに対抗する機体を完成させた。それは、かつての伝説の白いMSにあやかり、勝利のシンボル、Vガンダムと呼ばれた!

LM111EO2 ガンイージ

初期生産型(シュラク隊ジュンコ機)



後期量産タイプ



増備タイプ

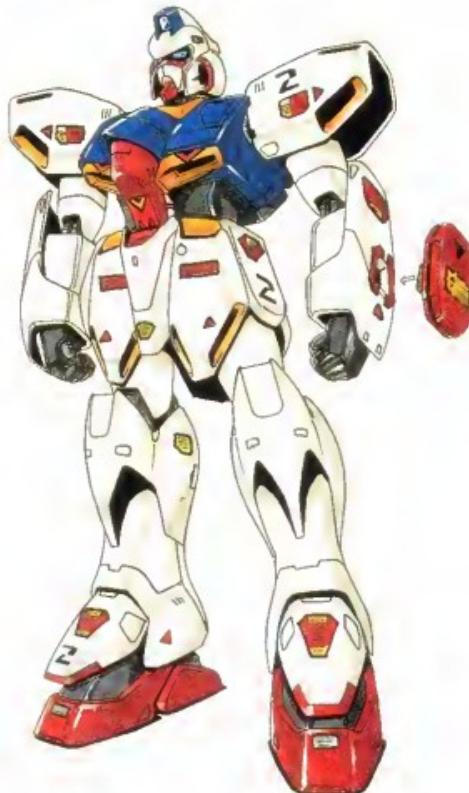


LM111E02 ガンイージ・プロトタイプ

ロールアウト時(1、2号機)



後期塗装(2号機)



シラク隊マーキング



シラク隊
エンブレム
(左肩)



ジュンコ・ジェンコ



マヘリア・メリル



ケイト・ブッシュ



コニー・フランシス



ヘレン・ジャクソン



ベギー・リー



ラン・チェスカ・オハラ



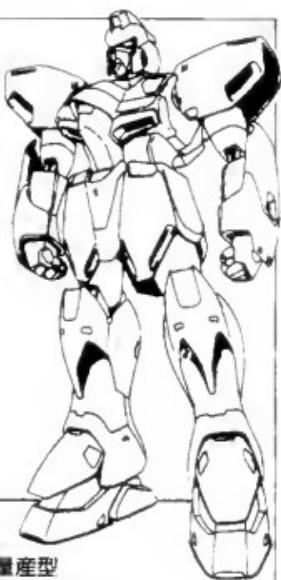
ユカ・マイラス

ガンイージ開発小史

この機体は、来たるべきザンスカール帝国の地球侵攻が決行された際に、イエロー・ジャケットのモビルスーツに対抗するため開発された。

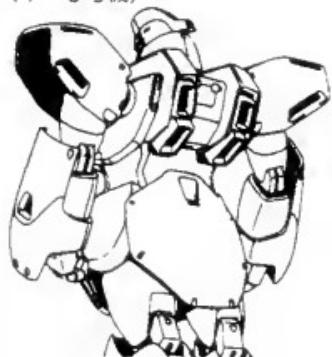
開発コードにあるEO-2は、ガンイメージがVガンダムよりも先に開発されていたという証である。だが、そうなるとO-1というコードを持つ、リガミリティアが最初に開発したモビルスーツが存在するはずである。ガンイメージの開発にあたったのは、目のセント・ジョセフ市近郊の地下工場だという。フォン・ブラウン市に次いでルナリアンの勢力が強く、連邦政府の干渉が届かない地域である。リガミリティアの指導者たちは、ここを根城として決戦兵器となるMSの自主開発を行っていた。やがて、マルチブル（変形）モビルスーツの構想が生まれ、その生産プラントは地球上へも移されるようになる。その開発に力を貸している者は、かつてのサナリイ（海軍戦略研究所）の技術者だったという。しかし、彼らの中にはザンスカール帝国のMS開発に手を貸している者もいたため、機密漏洩を恐れてO-1を抹消したと見せかけ、ガンイメージの開発を進めたのではないかと云われる。

プロトタイプは、2機製造された。完成時、未塗装のガンダリウム合金の地肌のままで各種テストが行なわれたという。これには頭部バルカン砲やビームサークル収納庫などの固定武装は装備されていなかった。



初期量産型
腰アーマー
(1~8号機)

■機体No.3～8 ガンイージ・初期生産型



概
体
No.
3
8

シユラク隊の結成に合わせて量産された機体。製造時より固定武装を持ち、6機が生産された。

シユラク隊の隊長機であるジュンコ・ジエンコのガンイメージは、前述のようにプロトタイプからの改装機である。

そのため、8号機は一時的にオリファー・イノエが搭乗したこともあるが、後に部品取り用の予備機になつたという。

コストのかかるヴィクトリータイプに比べ、ガンイメージの量産は積極的に進められている。初期型との差はほとんどなく、外観ではリアアーマーに欠き取りが有るのが特色。

■現地改造仕様
ガソリンイージ・陸

地球圈に配備されたガンイメージの中に、防砂・防塵のための改装を施した機体も存在した。

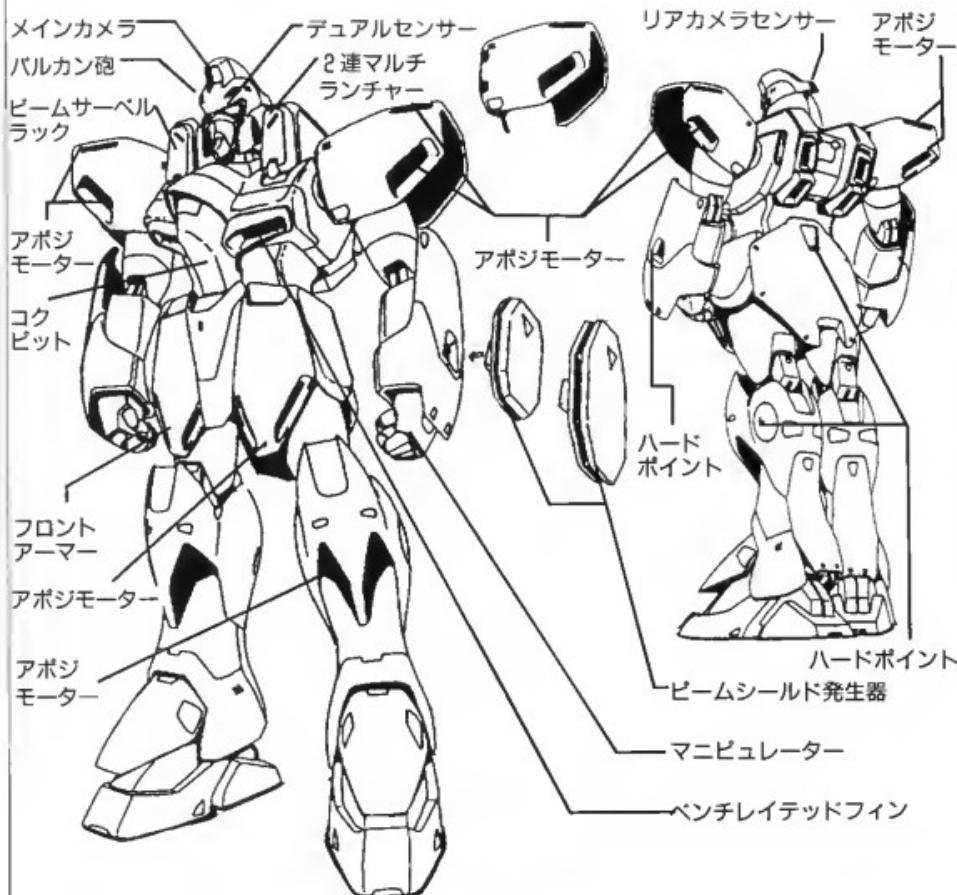
外観的には、全く変化はない。各ノズルにフィンを追加したり、放熱グリルを変更したりするといった差がある。これらの改装は、ほとんど現地の部隊によつて、加工されたものだ。したがつて、開発コードによる区分には含まれないものである。

■機体No.9-15
ガンイメージ・増備タイプ

調にした、いわゆるガンダムカラーに塗り換えられ、基本的な能力テストが続けられたという。

LM111E02 GUN EZ

リガミリティア
汎用量産型モビルスーツ



MS SPEC

頭頂高: 14.9m
本体重量: 7.6t
全備重量: 18.6t
装甲材質: ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
ジェネレーター出力: 4820kW
スラスター推力: 20460kg×4
アボシモーター数: 29
武装: 頭部パルカン砲×2 (固定) ビームサーベル×1 ビームシールド×1 (固定) 2連マルチランチャー×1 (固定) ビームライフル×1 メガビームバズーカ×1



LM111E03 GUN BLASTOR

当初より宇宙空間での使用も考慮されていたガンイージであったが、より戦術的に高度な作戦活動に対応できる様に、背部スラスターを高機動型ブースターに換装したのが、この機体である。ガンブラスターはガンイージの生産ラインに一定の割合で同時生産された。また、背部ブースター・ディバイスのみでも生産され、シユラク隊をはじめ、かなりの機体が背部を換装して、ガンブラスターとなっている。

さらに、機体色も、このグループより明かるいグリーン系に変更されており、既存機も背部ユニット換装時に、カラーリングの変更が行われている。

■強化型ガンイージ GUN BLASTOR

NEW MOBILE SUIT VARIATION

LM111E03 ガンプラスター

LM111E02 ガンイージ陸戦タイプ

ガンプラスター(シュラク隊／ユカ・マイラス機)



ブルーバード隊
所属機



陸戦タイプ(現地改造仕様)



LM312V04 ヴィクトリーガンダム

Vガンダム(シュラク隊)



トップファイター



コアファイター



ボトムファイター



Vガンダムの開発

リガミリティアは各地に点在するグループをネットワークし、個々の工場でモビルスーツの生産を可能としていた。そして彼らは、サンスカール帝国に対抗する抵抗運動のシンボルとして、伝説のモビルスーツ・ガンダムを復活させたのである。これが勝利のシンボル、Vガンダムだ。

Vガンダムは、上半身と下半身を切り離して運用できるという特色に加えて、ファーストガンダムなどに採用されたC・B・S（コア・ロック・システム）を有するモビルスーツである。Vガンダムの頭部とメインジェネレーターはBパートといわれ、このロックがコアファイターに変形するようになっている。

さらに、上半身のトップリム（Aパート）はコアファイターとドッキングして、ボトムリム（Cパート）もコアファイターとドッキングしてボトムファイターになり、戦闘マシンとしての個別運用が可能になっている。さらに、ハードボイントによる武装システムで、さまざまな戦術的レベルアップが図れる画期的なモビルスーツである。

ヴィクトリータイプの開発は、ヨーロッパ各地に点在するリガミリティアの工場で行なわれた。この地区に残されている、旧世纪時代の自動車や飛行機などの工場の製造施設を利用したのである。

その製造は同じ画面に基づくものだが、工場ごとに独自の調整を行なったため、若干の差異が生じている。

■1号機（カミオン隊／ウツン機）

各地でパートごとに製作されたヴィクトリータイプは、正確には何号機といつた区別はつけられていない。だが、便宜上、ウツソ・エヴィンが搭乗した機体を1号機として扱っている。

カミオン隊が調達したトップリムは、上腕の形状が角型になつていて、これは変形上の作動を確かなものにするため、ロックし

あつた。設計上は、後に量産された丸型が正解なのであるが、これは変形上の

実状である。おそらく、地球上では20機

■Vガンダムへキサ

ヴィクトリータイプの量産後期に少数生産された指揮官タイプ。変更されたのはコアファイター（Bパート）に付属する頭部で、通信・索敵機能が改良され向上した。外観的には頭部のみが変わり、V字形アンテナを無くし、頭部両側に高

性能アンテナが付けられた。

■一般機

これも、ウツソ機に対する便宣上の呼び名であり、特に大きな変更点があるわけではない。

上腕部は、円面通り丸型で調整されている。オリファー・イノエがカミオン隊に合流した際に乗っていた機体も、こちらである。また、ペチンの飛行場へ運ばれていた2機のVガンダムも同じ。

ヴィクトリータイプの生産数は、各工場でA・B・Cのパートごとに生産されていたため、正確な数はつかめていないのが

実状である。おそらく、地球上では20機分前後のパートが完成されていた。

この場合でもトップリム、ボトムリムには変更点は無く、諸性能は通常のヴィクトリータイプと変わりはない。

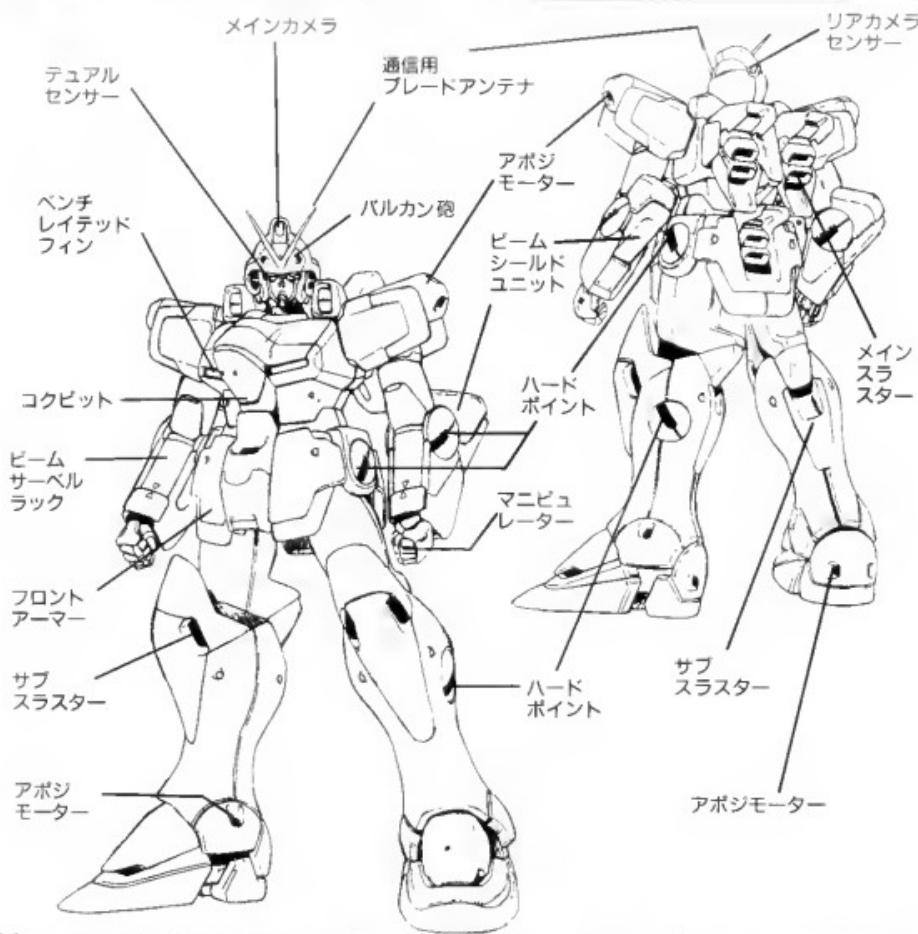
また、後期に月のリガミリティア秘密工場で生産されたヘキサタイプは、通常のVガンダムと区別するために、足の甲の部分が青く塗装されていた。

ちなみにヘキサの名の由来は、コードナンバーの「06」から。



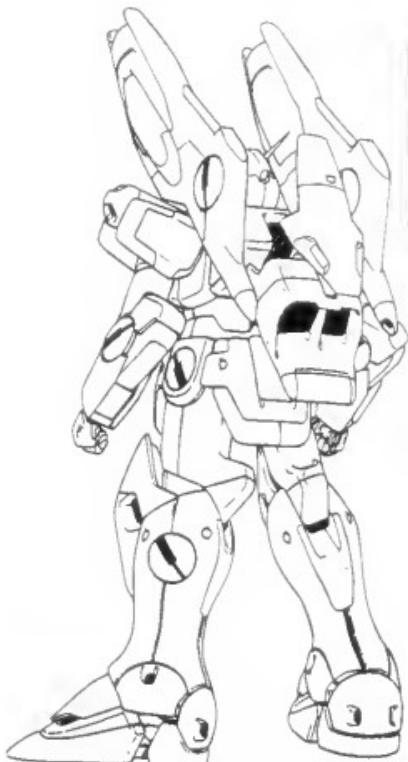
LM312V04

V-GUNDAM



MS SPEC

頭頂高	15.2m
本体重量	7.6t
全体重量	17.7t
装甲材質	ガンダリウム合金 スーパーセラミック複合材
ジェネレータ出力	4780kW
スラスター推力	7390kgf×6 4420kgf×8
アボジモーター数	34
武装	バルカン砲×2 ビームサーベル×2 ビームシールド×1 ビームライフル×1



■ **Vタツシュガンドム**

ヴィクトリータイプのパックパックに増加武器としてオーバーハングキヤノン2門を装備したサポートディバイスを喚装したVガンダムのことを、便宜上Vタツシュガンドムと呼んでいる。

このサポートディバイスは、Bパーティクルアーマーを装着するなどしてコアファイター単独と喚装することも可能で、この状態では各ユニットに分離・変形しコアブースターを形成するように調整されている。

ディバイスそのものは攻撃用途だが、クルーズ（長距離用）機能も兼ねているわけだ。当然、このディバイスはヘキサタイプへの装着も可能である。

VdashGUNDAM

NEW MOBILE SUIT VARIATION

LM312V06 Vガンダム ヘキサ LM312V04+VB03 Vダッシュガンダム

〈リガミリティア マーキング〉



隊長機
(右肩)

一般
(右肩)



カミオン隊
(左肩)

■パーソナル・エンブレム



オリファー・イノエ



ウッソ・エヴィン

VGヘキサ
(オリファー・イノエ機)



Vダッシュ ガンダム



(ウッソ・
エヴィン機)



RGM-119 ジェムズガン

ヨーロッパ地区配備機



コロニー守備隊機



宇宙艦隊所属機



ジエムズガンの開発

ジエムズガンは、旧式化しつつあった連邦軍の主力モビルスーツ、RGM-1を09ヘビーガンの後継機として、アナハイム・エレクトロニクスが開発と生産を担当したモビルスーツである。当初、地球連邦軍側の要求性能はヘビーガンと同程度のものであり、メンテナンスの簡便さの方が重視されていた。要するに、本機体はRGM系列の延長線上にある量産型汎用モビルスーツだったのである。

ところが、その開発期間中にサナリイのF(フォーミュラ)シリーズの存在が無視できなくなったため、急拠、大幅な計画の見直しが行なわれることになった。

それは、基本フレームの設計を同一にして、宇宙用と地上用(コロニー内の運用も含む/重力下用)の二種類の機体を開発しようというものである。ここに地上用のジエムズガン、宇宙用のジャベリンという二つのモビルスーツが誕生することになる。

ジエムズガンは小型MSでありながら、各部は旧式のRGM-89ジエガの設計を踏襲している所が多い。これは012

0年代になつても使用され続けた名機ジエガに対する連邦軍関係者の信頼のあらわれと見てよいだろう。

ジエムズガンの正式採用は0119年であるが生産化が遅れたために、0120年9月に、Gキヤノンに採用された。そこで、配属が開始された3年のC・V(クロスボーン・バンガード)の峰起にあたり、鎮守部隊として参戦したのはわずか7機にすぎなかった。それも月面の連邦軍施設の防衛という任務であつたため実践における評価は、今だに定まらない。

ジエムズガンによって戦闘を経験した連邦軍士は、口を揃えてジエネレーターの出力不足を指摘している。

一部には、この機体はMSではなくてMW(モビルワーカー/工事用などの作業用機)だと言う声すらある。

その反面、これといった故障もなく、アフリカや南米、また北極といった気象条件の厳しい地区でも若干の改造で運用できるという利点も合わせ持っている。

ジエムズガンは、正式採用から30年以上が経過した旧型機であるが、各地域の連邦軍駐屯地では、たいへん重宝がられ、稼働率の高いMSなのである。

現地での応急的な改造を除くとこれといつた性能の変更はない。

■初期量産タイプ

開発当初のジエムズガンは、地上用としての運用コンセプトが定まつていなかつた。そこで、配属が開始された0120～0125年頃までは、それまでのヘビーガンやGキヤノンに採用されていたライトグリーンが用いられた。

C・V軍によるフロンティアサイド制圧にあたつてグラナダ守備隊に編入された初期生産分7機は、すべてこの塗装だった。

■宇宙艦隊所属機

地球連邦軍汎用量産型MS、ジムの伝統を受け継ぐカラーリングである。

ただし、実戦向けのものではなく艦隊の儀礼用に小数が塗り換えられたにすぎない。

ジャベリンの配備が整うまで、暫定的に存在した。スラスターとアボジモーターを宇宙用のものと換装したという説もあるが定かではない。

■コロニー守備隊機

スペースコロニー、各サイドの防衛用に配備されているガーディアンタイプ。

0130年頃まではライトグリーン

が正式塗装だったが、かつてコロニー内用のジムコマンド(G型)に採用されたカラーリングに変更された。

■ヨーロッパ地区配備機

ジエムズガンの塗装として一般によく知られるグレー標準塗装。一部の熱帯地方を除いて、0153年時での地球上に配備されている機体は、ほぼこのカラーリングに統一されている。

■インド地区配備機

地球連邦軍の重要な拠点があつたチベットのラサ地区周辺に配備された機体カラ。もともとは、ホンコンシティを中心とするアジア地域の守備隊用の塗装であつたらしい。

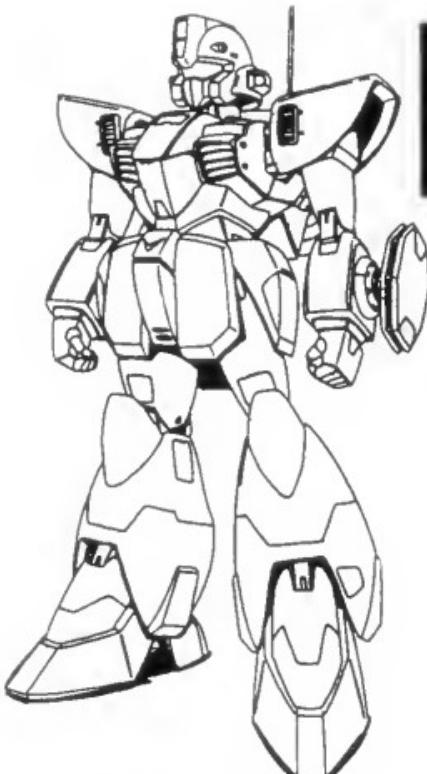
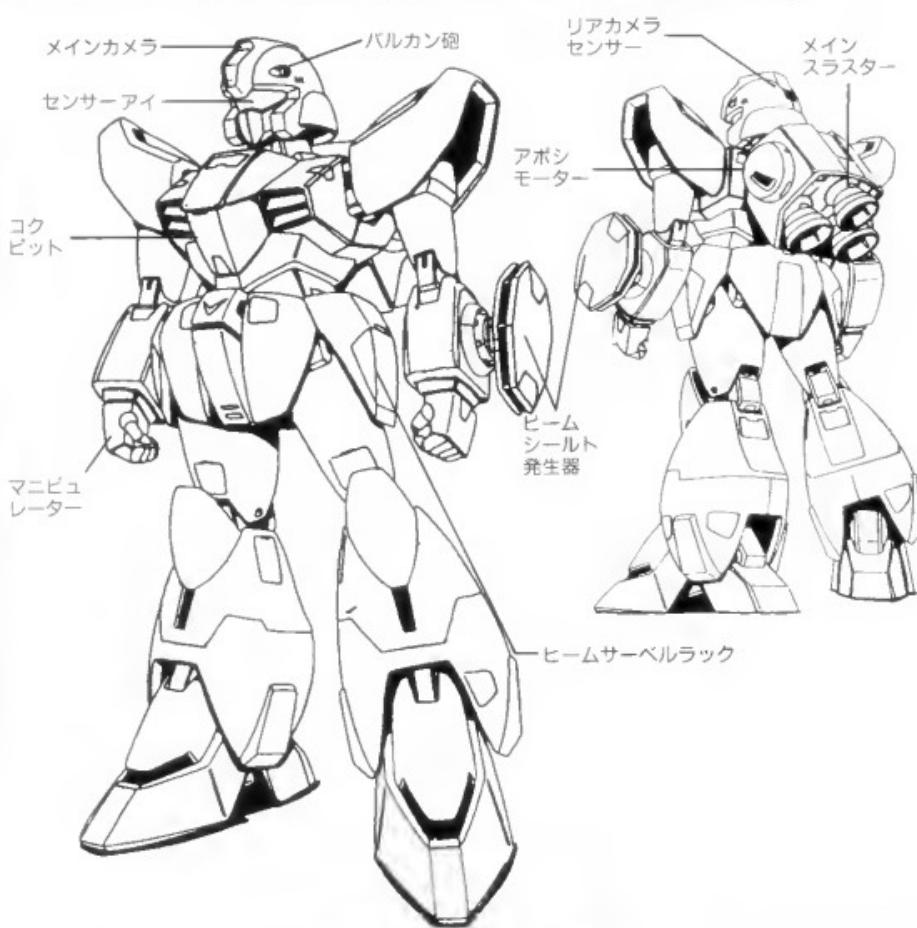
■アマゾン地区守備隊

この塗装もまた、かつての地球連邦軍本営ジャブロー周辺の警戒用に配備された機体。その任務は、資材や核燃料の盗難を防ぐといった程度のものである。密林仕様ともいわれる。

RGM-119

JAMES GUN

地球連邦軍
汎用量産型モビルスーツ



MS SPEC

頭頂高：14.7m
本体重量：7.1t
全備重量：16.3t
装甲材質：ガンダリウム合金
セラミック複合材
ジェネレータ出力：3680kW
スラスター推力：2270kg×3
アボシモーター数：16
武装：頭部バルカン砲×2
ビームサーベル×1
ビームシールド×1
ビームライフル×1

アフリカ戦線でベスパのアフリカ地区制圧部隊と渡り合ったのが、現地仕様の改造ながら、D型のコードナンバーが与えられたジエムズガンを擁するAAA（フォーアベンジャヤー／4人の復讐者）隊である。その名の通り、4機のMSによる猛者揃いの部隊で、リガミティアに加勢したロベルト・ゴメス大尉は、この部隊に在籍していた。リガミティアの夜襲戦闘部隊、ブルーバード隊の協力を得て、ベスパの進軍をキリマンジャロ付近で喰い止めた。

■ AAA隊

RGM-119D

インド地区配備機



アマゾン地区守備隊



〈連邦国籍マーク〉



艦艇用



MS用
(右肩)

連邦軍統一ナンバー
(腰アーマーに表示)

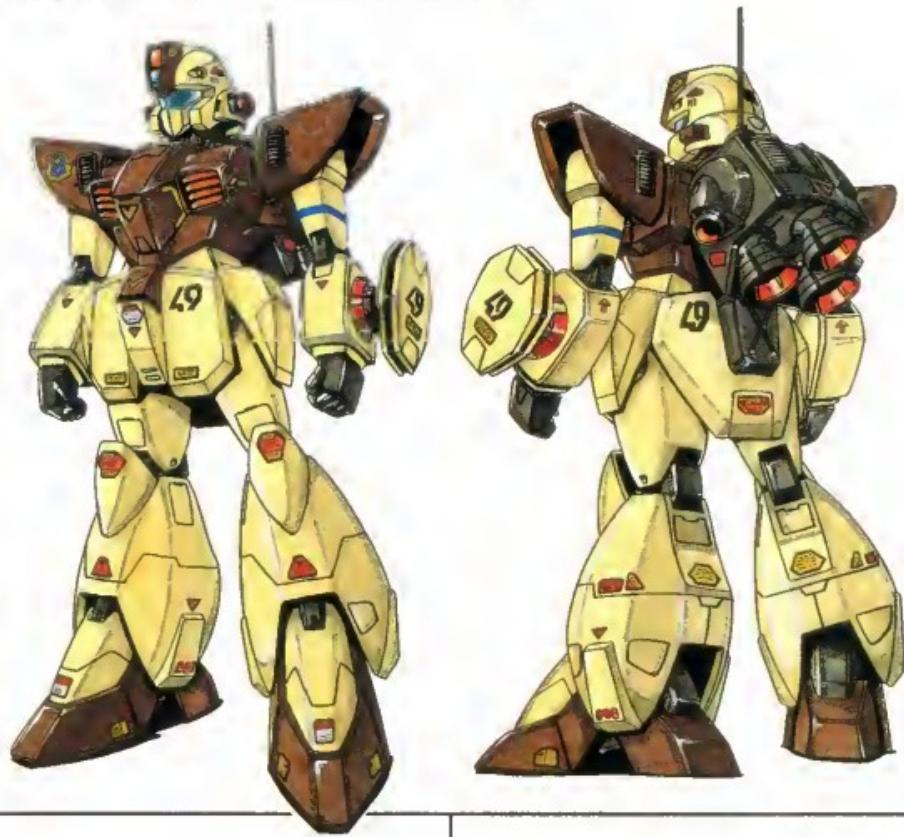
D1234
567B9

初期量産タイプ



RGM-119D 砂漠用ジェムズガン
RGM-109 ヘビーガン

砂漠用ジェムズガン (AAAA隊)



ヘビーガン



AAAA隊(一般型)



HISTORY OF MOBILE SUIT

ビームローターとゾロ

ベスパが実用化に成功したMS初号機はZM-06Sの開発コードを与えられたゾロアットであった。宇宙世紀0153年に地球降下作戦が決行されるにあたって、重力下での運用にふさわしいモビルスーツの開発が急務となつた。旧サナリイ(地球連邦軍海軍戦略研究所)出身の技術者たちは、ビームシールドの技術を応用し、それまでは戦艦級の巨大なジェネレーター(核融合炉)ではなくては実現できなかつたミノフスキークラフトを、MSのジェネレーターでも可能にしてしまつた。

ビームシールドをローターとして回転させ、ミノフスキーパーク粒子の反発力を利用して揚力の代わりにするのだ。この新機種はゾロアットをベースに開発されたZM-S08Gゾロに採用され、シャッコーやゴッゾーラといった試作型モビルスーツにまで標準装備されている。

ゾロは、このビームローターをもつとも効果的に生かして設計された機体だ。それは上半身と下半身が分離し、それぞれトップターミナル、ボトムターミナルと呼ばれる飛行形態に変形する可変モビ

ルスーツなのである。

パイロットはトップターミナルに搭乗、下半身は無人機で、ミノフスキーコントロールによつて遠隔操作される。合体はレーザー誘導で行なわれるため、ミノフスキーパーク粒子散布下でも支障はない。

トップターミナルの外観は、旧世紀時代の戦闘ヘリコプターとよく似た形態をしており、地上掃討用のバルカン砲が機首にある。主翼には、ビームサーベルを兼ねたビームガン。主翼下面には9連ミサイル弾ポッド、もしくはプロペラントタンク(増槽)を懸下できる。

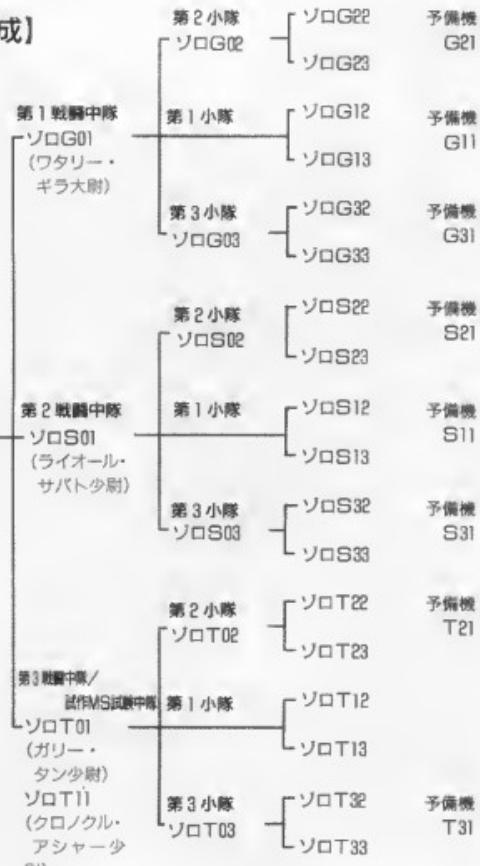
ボトムターミナルには、股間部分に爆撃ユニットを装備。もしくはマルチバズーカやガドリング砲の搭載も可能である。ただし、火器の使用はモビルスーツ形態時に限られている。

【ラーゲン基地駐留部隊 編成】

地球侵攻作戦時

リカール
(ファラ・
グリフォン中佐)
(メティ・
ルーベンス)

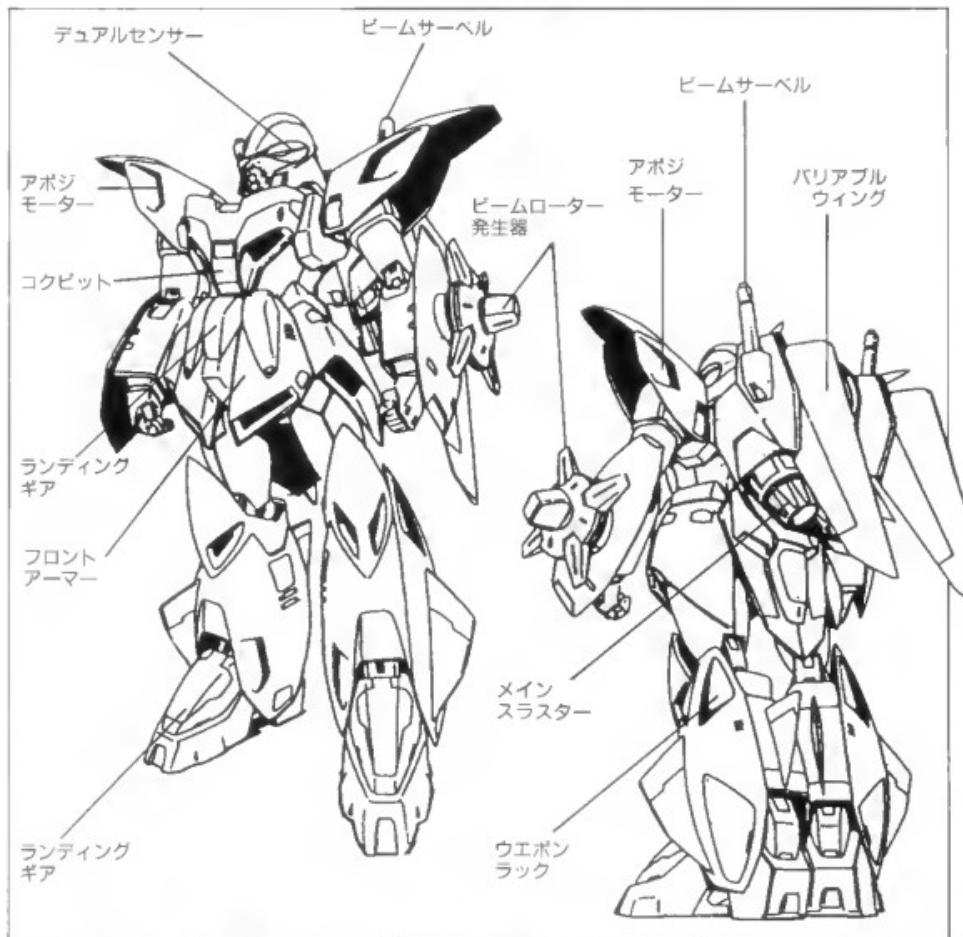
大隊直属
ゾロ O01
(ゲトル・
テブレ大尉)



ZM-S08G

ZOLO

サンスカール帝国 汎用型可変モビルスーツ



MS SPEC

頭頂高：14.8m
本体重量：8.8t
全備重量：21.2t
装甲素材：チタン合金ネオセラミック
複合材

ジェネレーター出力：5120kW
スラスター推力：11890kg×2
7630kg×2

アボジモーター数：30
武装：ビームサーベル×2
ビームローター×1
ビームライフル×1
バルカン砲ほか

ラグーン基地に駐留するイエロージャケットのうち、第3戦闘中隊はベスペの試験型MSの試験部隊も兼ねている。初めて地上に降りたクロノクルはこの中隊長となり、早速、ZMT-S12Gシャッコーの大気圏内テストを行なうことになった。その試験飛行の最中にリガミリティアのコアファイターを発見、追跡中にウツソのバラライダーに接触したのである。

クロノクルがサンスカール帝国女王マリア・ピア・アーモニアの弟君という身分であるため、ガリー・タン少尉がその片腕として試験中隊の指揮を取ることもある。

この中隊に配備されているゾロは、すべて先行量産試験型であるため、量産機と若干の違いがある機体も存在する。中でもクロノクルの乗機はスラスター推力やアボジモーターをチューンナップした特別仕様の機体であるといわれる。真紅の塗装を施したのは、クロノクル流のパフォーマンスであろう。

■試作MS試験中隊

NEW MOBILE SUIT VARIATION

ZM-S08G ゾロ

一般兵(イエロージャケット所属機)



トップターミナル



ボトムターミナル



ZM-S09G トムリット

〈ザンスカール帝国軍
マーキング①〉

国籍マーク

地球降下部隊



■部隊マーク

【中隊長】



イエロー
ジャケット



【一般兵】



カイラスギリー
大隊



ピビニーデン
中隊

クロノクル・アシャー中尉
(当時) 専用機



トムリット
(アルビオ・ピビニーデン大尉専用機)



トムリアットとピピニーデン中隊

アルベオ・ピピニーデン大尉は、クロノクル・アシャーの士官学校時代の先輩にあたる。イエロージャケットの司令官タシロ・ヴァゴ大佐の信任が厚く、ワタリ・ギラ大尉亡きあと、ラゲーン基地の戦力補充を目的にカイラス・ギリーより派遣された。

だが、それは表向きの理由でギロチンでオイ・ニュングを公開処刑してしまったファラ・グリフォン中佐の後釜にえようというのが狙いだったようだ。なりゆきからラゲーン基地司令官の地位についたゲトル・デブレ大尉は功をあせるあまり、自ら出撃、シュラク隊との戦闘で命をおとした。

ピピニーデン中隊には、最新鋭の汎用型量産可変MSトムリアットが配備されている。トムリアットは、単機で戦闘へり形態に変形でき、その攻撃力はゾロを格段上回るものである。また、実体弾とビームの両方が発射可能なマルチバズーカも使用できる。この武器はゾロ用に開発されたものだったが、実戦で効果をあげたのはトムリアットが使用するようになつてからだ。また接近戦では、破壊力

の高いビームトマホークをビームサーベルに代えて使用する。ピピニーデン中隊は、3機単位、3つの小隊（合計9機）で編成されている。第1小隊はピピニーデン、第2小隊はルベ・シノ中尉、第3小隊はクワン・リー少尉がリーダーであるが、ピピニーデンが出撃できない場合は、キッサロリア少尉が指揮を取っていた。

キッサロリアはラーゲーン基地着任前に、ドゥカー・イク大尉の戦闘バイク部隊、ガッタール隊の支援にまわつたものの、Vガンダムの反撃に会い、2機を破損している。

二度目の出撃はピピニーデン自らが指揮を取り、キーラ、ジルらの部下6機で出撃。2機を失つたものの、Vガンダムの捕獲に成功したかのように思われた。だが、そこへ駆けつたオリファー・イノエのボトムファイターの攻撃を受け、さらに1機を失つてしまふ。

ゲトル・デブレの要請で3機のトムリアットを貸すが、すべてデブレ隊のゾロと共に、Vガンダムとシュラク隊のガントムニアの活躍の前に全滅させられてしまつた。

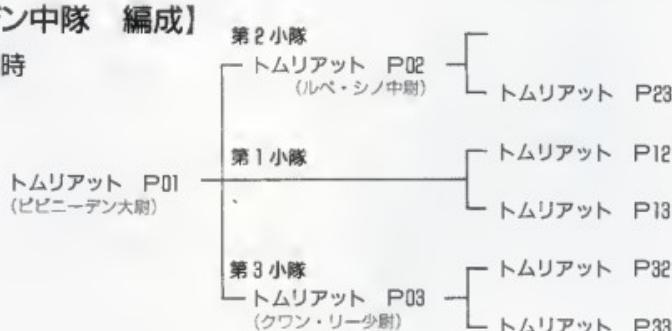
ピピニーデンは、補充された機体を加えて、ルベ・シノとクワン・リーにリガミティアの追撃を命じた。ルベ・シノの小隊はベチエンの旧飛行場でガッタール隊と共に連邦軍の輸送機を追いつめたものの、シュラク隊のヘレンの捨て身の攻撃で仲間を失い、自分の機体も破壊されてしまった。

条約では非戦闘地域のアーティー・ジバラルタルの引っ越し公社を攻撃するという最後の賭けに出たファラ・グリフォン。その指揮下に入ったルベ・シノ、クワン・リーであつたが、試作型メツメドーザに乗つたクワン・リーはウツソのVガンダムの前に敗れた。だが、シュラク隊もマヘリアとケイトを失つている。ピピニーデン・サーカスとまで言われた絶妙のフォーメーションは、リガミリティアの精銳達にとつても、まさに驚異であり、損失も大きかつた。

トムリアットは、ラゲーンを中心にしてアフリカ地区制圧部隊へも配備されている。ラゲーン基地配備のトムリアットのうち一般のイエロージャケット兵士用は、濃緑色で塗装されている。

【ピピニーデン中隊 編成】

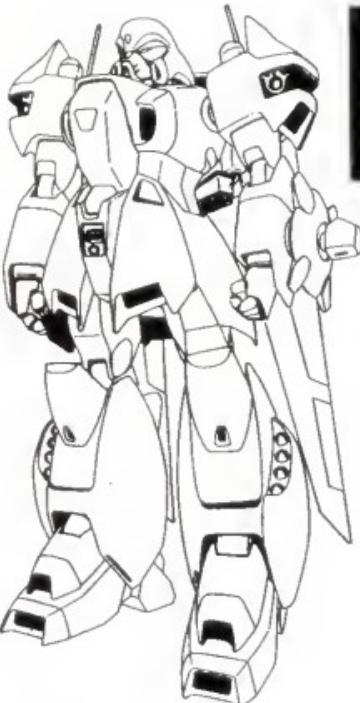
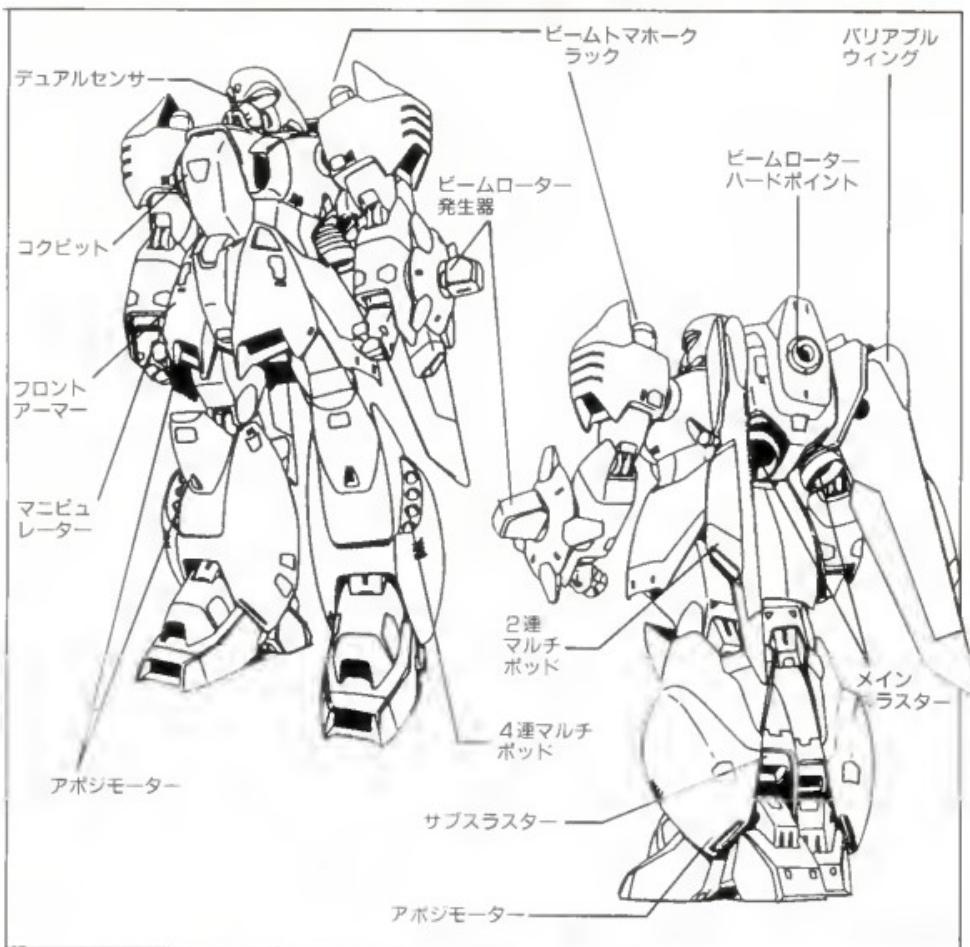
地球降下作戦時



ZM-S09G

TOMLIAT

サンスカール帝国
汎用型可変モビルスーツ



MS SPEC

頭頂高: 15.0m
本体重量: 8.6t
全備重量: 20.7t
装甲素材: チタン合金ネオセラミック複合材
ジェネレーター出力: 5540kW
スラスター推力: 10630kg×2
7840kg×2
アボジモーター数: 29
武装: ビームトマホーク×2
ビームローター×1
4連マルチポッド×2
2連マルチポッド×2
ビームライフル×1
マルチバズーカ×1

ZM-S09GE

■ プラックウイドウ隊 地球侵攻作戦が侵攻する中で、反抗勢力の偵察を目的に編成された特務部隊。

トムリアットを改造したEタイプと呼ばれる機体は、両肩と腰アーマーに各種レーダーや通常&暗視切換のカメラ等を装備。また、主翼の大型化やステルスバーニアへの交換も行なわれている。実際の偵察行動は、基本的にEタイプ1機と随伴機(こちらも改良型)が2機の3機で編成を組む。主にヘリ形態のまま行動すること多かった。また、偵察行動は夜間に限定されたため、機体は黒一色で、「黒い末亡人」という毒蜘蛛の名が付けられた。

■ ブラックウイドウ隊

アフリカ地区制圧部隊機



イエロージャケット所属機



戦闘ヘリ形態
(ビビニーテン機)



ZM-S09GE トムリアット 偵察タイプ

ブラックウィドウ隊(偵察機)



(サンスカール帝国軍
マーキング②)



ラケーノ基地駐留隊



小隊長識別マーク



ブラックウィドウ隊

■パーソナル・エンブレム
(左腰アーマー)



オ・ビリニードル・ガーディアン・アーマー

ブラックウィドウ隊
(隨伴機)



■リガミリティア/連邦軍MS用銃器について

一口にモビルスーツの銃火器といってもその戦略・戦術、用法によって、形態やスペックは著しく異なるものである。Vガンダムやガンナージュを独自に開発したりガミリティアとはいえ、所詮実態はゲリラ組織にすぎない。ザンスカル帝国の軍事力とは比較にならぬほど微力なものである。マルチブル(変形)MSとして開発されたVガンダムやV2ガンダムも、その生産を分割してベスパの秘密警察の監視からカムフラージュしなければならなかつたという事情も大きい。また、各部をロック毎に分割することによって、修理やメンテナンスを容易にし、早急な体勢の立て直しが行えるという利点もある。非変形のガンナージュの場合でも、Vガンダム、V2ガンダムと部品が共用できるように配慮されている。さらに、ジェムズガンやジャベリンといった連邦軍のMSとも一部の部品や装甲が交換できるようになっている。

リガミリティアはVガンダムおよびガニージに共通のビームライフルを採用している。これは前述のようなりガミリティアの内情によるところが大きいのだ

が、出力の低い連邦軍製のMS用ビームライフルをリガミリティアの戦術担当官が相手にしていかつたというのが実情であろう。その基本設計はビームピストルと呼ばれる発射機からなり、出力増加バルル、マルチサイト、エネルギーユニットおよびパックといったデバイスによって構成されている。

V2ガンダム用のビームライフルも、基本構成は変わらない。特筆すべきは、信号弾やグレネード(榴弾)を発射するマルチブルランチャーがフォアアグリップ部分に追加された点だろう。もちろん、威力の増強も計られている。

リガミリティア、地球連邦軍の共用火器として知られるのが、ビームバズーカである。この火器は、0120年代に新世代のMS用ウエポンとして脚光を浴びたビームランチャーの普及型といったものである。

その設計はサナリイによるもので、F90III-1Yクラスターガンダムに実験的に装備されたことがある。その後、地球連邦軍に正式採用されジェムズガンやジャベリンが使用するようになった。現在、

連邦軍製MSのハードポイントは單なる兵装ラックにすぎないものだ。

最後に、Vダッシュガンドムが使用するメガビームライフルについて解説を加えておこう。ライフルと称されているものの、ランチャー以上の威力を誇る対艦用クラスの重火器であり、サポートデバイスで総出力を強化したVダッシュガンドムではなくては使いこなせないものだ。



その開発はリガミリティアではなく、かなり以前に別のモビルスーツ用として、作られたようだ

がVガンダムに見事、適合した。ビームサーベルは、いくつかの型式が存在するが、リガミリティアと連邦軍のMSならどのタイプでも適合するようになつていて。

WEAPONS

■ザンスカール帝国軍(BLESPA)MS用銃器について

ザンスカール帝国側のMS開発は、その出発点が「弾道研究と宇宙偵察部隊」であったために、実にさまざまなモビルスーツが製造されている。そして、その武器もまた実際に豊富である。

ザンスカール帝国軍の総称であるベスピアが最初に調達したMS、ゾロアットからしてビームストリングスなる新機軸の武器を搭載したウエポンバインダーが装備されていた。

地球侵攻作戦が開始された時点では、ゾロを戦闘ヘリや爆撃機として運用するためにミサイル弾ボッドや爆撃ユニットが用意された。これらは、ラゲーン空港の占領、周辺都市の制圧およびワーリング爆撃に戦果をあげた。ヨーロッパ地区制圧のための拠点作りを終えたベスピアは、反抗組織リガミリティアの掃討を始めた。同時にラゲーン基地駐留軍に試作型MSの試験中隊を組織した。ここでは、ZM-T-S12Gシャツコー、ZM-T-S13Gゴツゾーラ、ZM-T-S16Gメツメドーが試験配備され、実戦にも参加している。また、ラゲーン基地とは別にモトランド艦のデータ収集のためドゥカーリーのひとつに、大型バルカン砲がある。こ

ク大尉のガツタール隊も地球に降下した。この部隊はMSではなく戦闘バイクによって編成されているものだが、水陸両用の可変試作型MSであるZM-T-D15Mガルグイユを使用したことがあった。

試作型MSにはガルグイユをのぞいて、すべて共通タイプのビームライフルが使われた。これは、後にゾリディア用として正式採用された。

ZM-T-S08Gゾロの基本武装は、ビームライフルで、これは右脚部の収納スペースに治められる。ビームバズーカも小型に作られているため、ここに入れることができる。だが、連邦軍／リガミリティア側のビームバズーカに比べて威力が弱く、兵士たちの評判は芳しいものではなかつた。

そのため、ビビニー・デン隊ではゾロではもてあまし氣味だったマルチバズーカを好んで使用するようになつた。このバズーカは実体弾とビームを併用できるべく、ソロに試験的に取り付けられた重火器である。

ビームサーベルは、リガミリティア・連邦軍のように全機種に適合するようになつているが、ゾロのようにビーム砲として共用する大型タイプと、機体内部に収納される小型タイプに大別される。

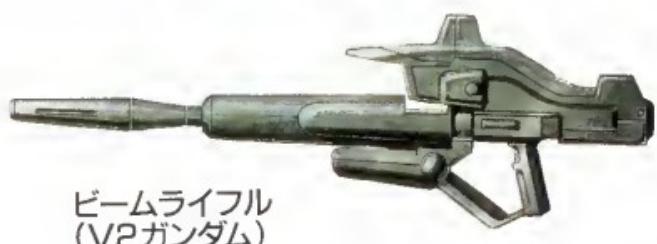
これはクロノノクルがボトムリムに搭載してVガンダムとの初戦闘で使用した。だが、MS時のみにしか使用できないという弱点と、発射時の制御が難しいため、トム・リヤットでもあまり使われることはなかった。そこでそれらのデータから、発射時の反動をおさえるコントロールアームが開発され、ZM-T-S06Gゾリディアで実用化に成功した。

このアームは、ゾロアットのウエポンバインダーのアーム技術を応用したものであるらしい。

ベスピアのMSは、すべて試作時にその機体の反応速度や射程等をサンプリング。それに適応したビームライフルが開発されている。そのため、制式採用された機体はすべて異なる武器を持つ。だが、必ずしも他機種に適合しないわけではなく、よりその機種の性能をひきだすような武器が開発されているのである。



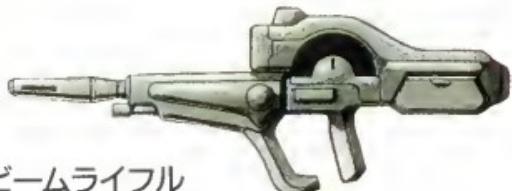
■リガミリティア/連邦軍MS用銃器



ビームライフル
(V2ガンダム)



ビームピストル
(V、V2他)



ビームライフル
(V、ガンイージ他)



ビームライフル(ジェムズガン)



ビームライフル(ジャベリン)



LM仕様(旧塗装)

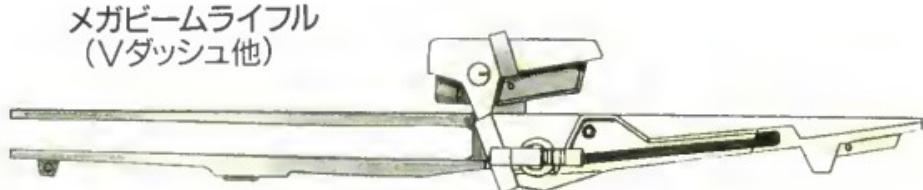


連邦軍仕様



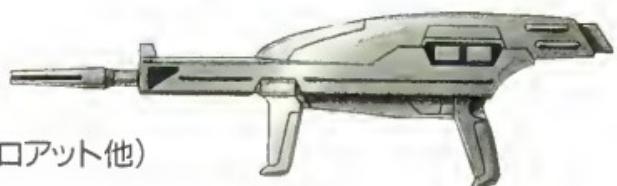
LM仕様(新塗装)

メガビームバズーカ(ガンイージ他)



メガビームライフル
(Vダッシュ他)

■ザンスカール帝国軍MS用銃器



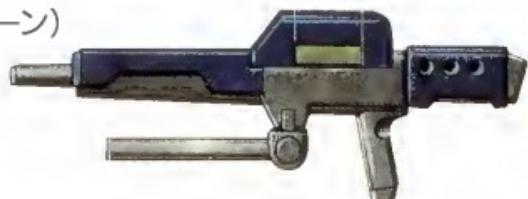
ビームライフル(ゾロアット他)



ビームライフル(トムリアット)



ビームライフル(試作型MS
、ゾリディア)



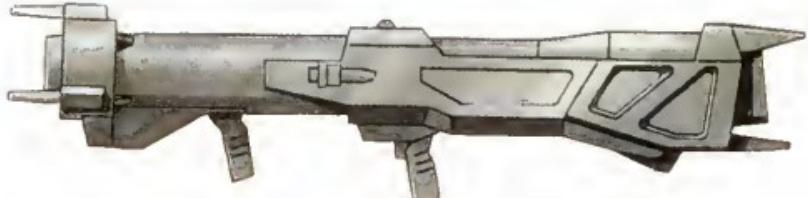
ビームバズーカ(ゾロ他)



ガドリングガン(ゾリディア他)



マルチバズーカ(トムリアット他)



Challenge.1

付属シールでリアルタイプに!

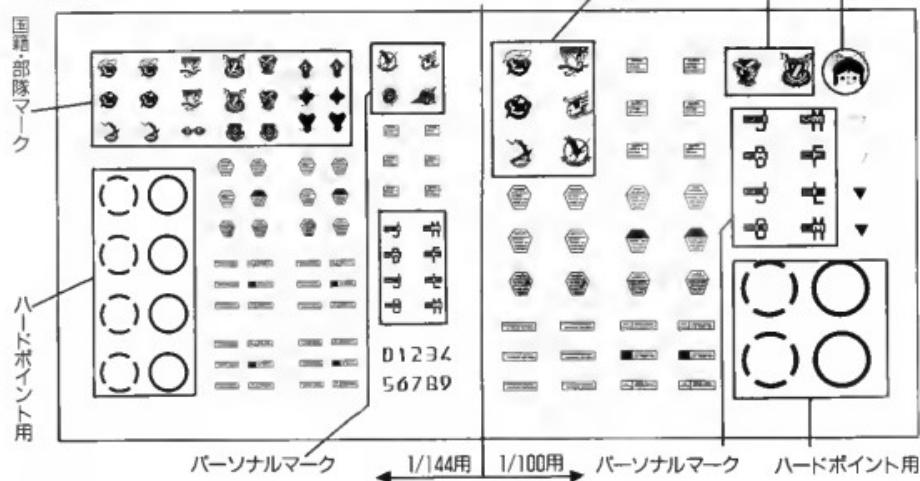
マーキングシールの使い方

本誌中央にとじてあるマーキングシールを使えば、君のプラモデルも、よりリアルに仕上げることができます。ちょっと面倒な作業だけど、その効果は抜群!

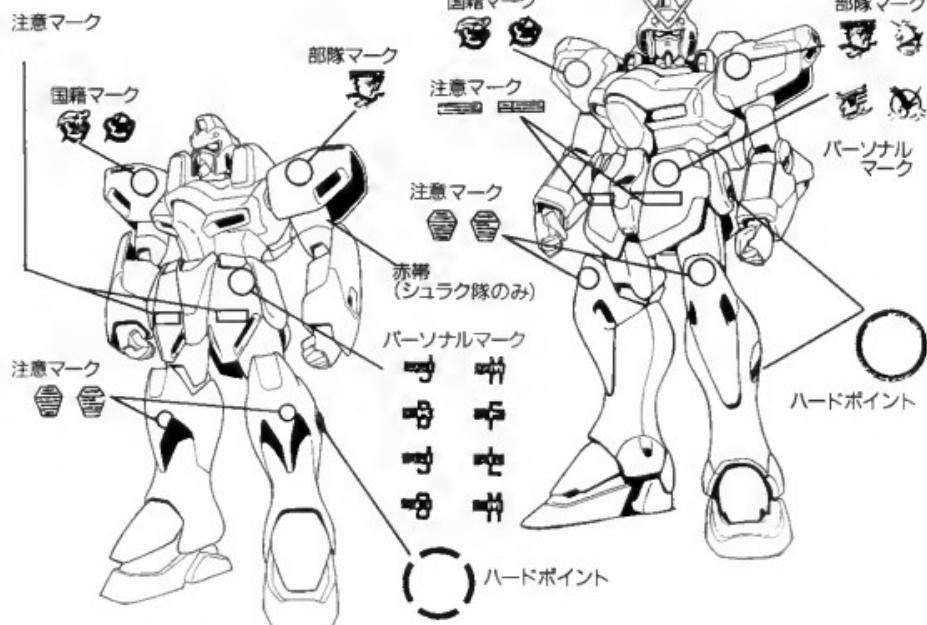
- ① まず、本誌中央からマーキングシールをていねいにはさします。ハンドブック本体は壊さないように注意しましょう。
- ② カッター等を使って、マークの回りを切り取ります。刃先には十分注意してください。また、台紙ごとハサミ等で切りはなしてもよいでしょう。
- ③ 切り取ったマークを、プラモデル本体に貼ります。ハンドブックのカラーページを見比べながら、貼る位置や向きをまちがえないようにしましょう。

※ 注意書きのマークは、貼る種類や位置は、特に指定はありません。カラーページのイラストを参考にしながら、好きな所に貼りましょう。

■付属シール



1/144用 ← 1/100用 → パーソナルマーク ハードポイント用



MODELING GUIDE

Challenge.2

カラーバリエーションに挑戦!

缶スプレーによるカラーリング

バトルMSコレクションシリーズでは、本体の各部パーツが、ボリバーツ（Vフレーム）で連結された構造をしています。今回は、これを利用して、ジムズガンのカラーバリエーションを簡単に作ってみましょう。

■用意するもの

・ジムズガン（完成させておくこと）
・缶スプレー（模型用のもの。使う色は、下の表を見てね。）

・新聞紙などの大きな紙。又は、ふろしきなど。（スプレー塗料を使うときは、回りを汚さないように必ず敷きましょう。）
・割りばし、両面テープなど。（部品を固定するのに使います。）
・色を付けたいパーツを、割りばしの先などに固定します。

③ 固定したバーツに向かって缶スプレーで色を付けます。約30cm位はなしで、各方向から、まんべんなく塗ります。

一度に大量に缶スプレーで塗ると、乾かないばかりか、ムラ（ベタ）になります。少しずつ塗っては乾しながら、何度も塗るようにします。

④ 塗料が完全に乾いたら、再びVフレームを使って各バーツを組み立ててみましょう。

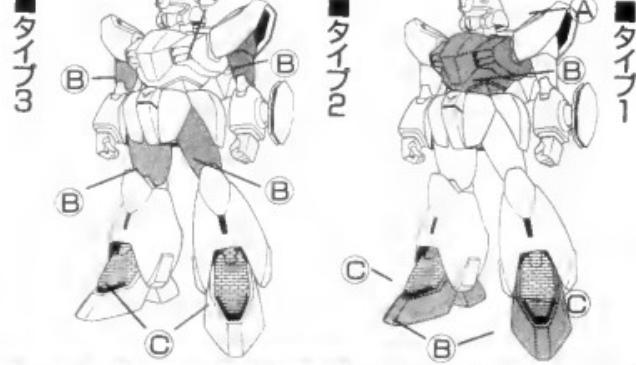
また、細い筆を使って細部を塗るとよりリアルになります。

もちろん、バトルMSコレクションは色を塗らなくてもカラフルな仕上がりが味わえます。

接着剤は不要のスナップフィットキットですが、塗装される方は接合面を接着し、乾いてから紙やスリをかけて、合わせ目を消すようになります。さらに、美しい仕上がりとなります。

① 一度完成したジムズガンから、Vフレームを抜いて各パーツごとに分けます。

② 色を付けたいバーツを、割りばしの



ジムズガン塗り分け対比表

タイプ	A	B	C	D	■施インテーク	その他
ヨーロッパ地区配備機	明灰白色orライトブルー				黄橙色	履部・ノヤインレッドor西武レッド①
宇宙艦隊所属機	ホワイト	シャインレッドor西武レッド①	ホワイト		ニュートラルグレー	履アーマー上半部 シャインレッドor西武レッド①
コロニー守備隊	セールカラー	近鉄ダークブルー①	セールカラー		黄橙色	履アーマー上半部 シャインレッドor西武レッド①
初歩者用	京阪ライトグリーン①	or西武レッド①	シャインレッドor西武レッド①		草綠色	腕ハッチ部分・履アーマー上半部・手首部分 シャインレッドor西武レッド①
砂漠用改造タイプ1	サンドイエロー	マホガニー	サンドイエロー		シャインレッドor西武レッド①	腕ハッチ部分・足部・足部・足部 履アーマー上半部 シャインレッドor西武レッド①

タイプ	A	B	C	D	■施インテーク	その他
イント地区機	純白	ホワイト	ブラック	ブラック	■施ハッチ部分・履アーマー上半部・ブラック	
アマン守備隊	濃緑色		マホガニー		■施ハッチ部分	■施ハッチ部分

※上記のカラーナーは、通り分けの一例です。混色等設定とは一部異なるものもあります。

①は鉄道カラーです。

②はラントセルはニュートラルグレーor軍艦色、細部は、カラーベーシを参照してください。

Take off!

ピビニーデン隊

ビームローターのタキシング（はたして、音はするのかな？）が聞こえるようなジオラマが作れたら……そんな気持ちでラゲーン基地を再現してみました。アニメ設定のラゲーン基地は、元民間機の離着陸する飛行場で新東京国際空港（成田）のような立派な管制塔や搭乗ゲートがあるような所のようなのです。

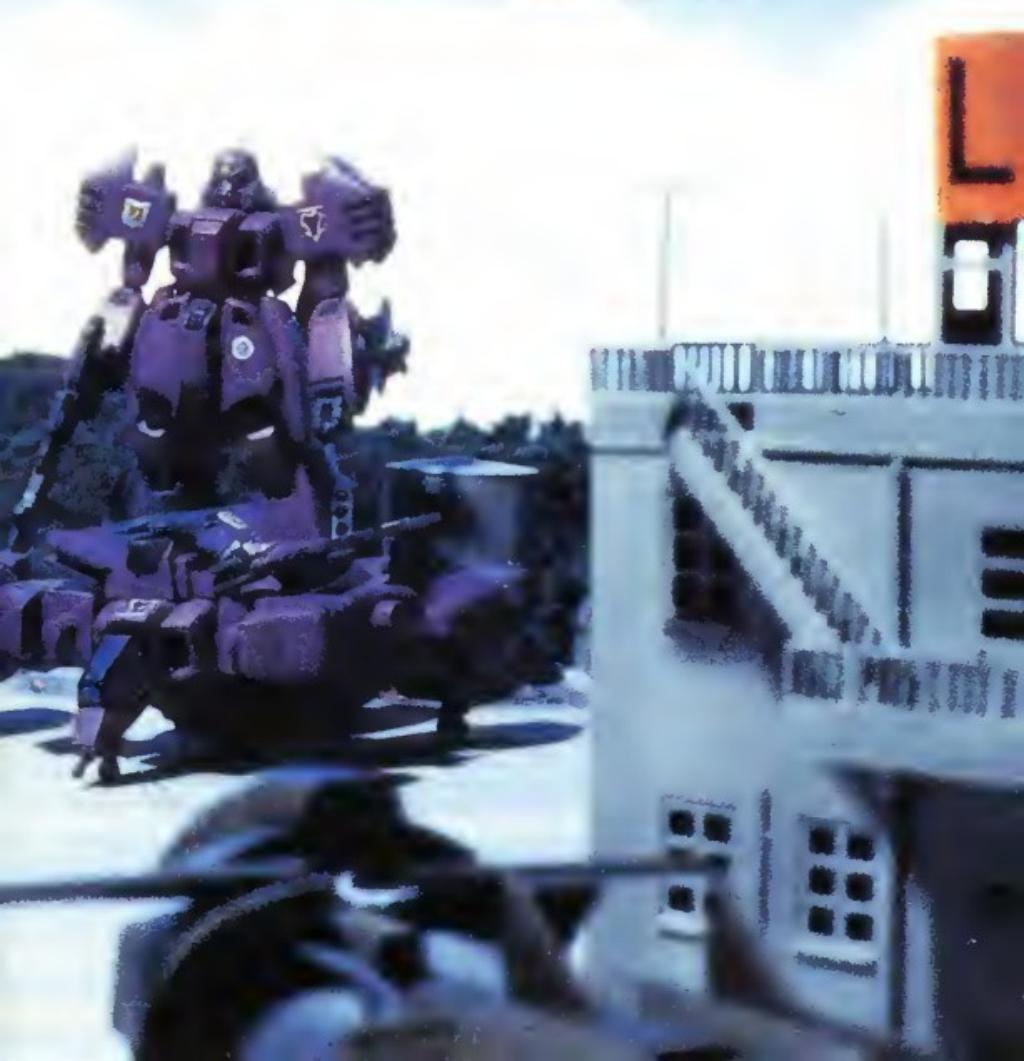
クロノクルやビビニーデンの私室になっていたゴージャスな造りの部屋は、空港時代のVIPルームだったそうです。

でも、トムリアットやゾロにはそぐわないイメージ。（管制塔を作るのが大変だということもあるけど。）そこで、エアフィックスの再販で出回っていた軍事基地の管制塔を使わせてもらいました。屋上の「RG」は「ラゲーン」のつもりなのですが、スペル合っているのかな？ このキットはHOスケール（87分の1）なので、ちょっとサイズが合わないため手前にセッティングして、それらしく見せています。手前にちらっと見えているゾロのトップターミナルとボトムターミナルは、100分の1スケールのガレージキットです。



トムリアットの戦闘ヘリ形態は「模型情報」誌上で作ったものがあったので、それを型取りして3機量産しました。すべてバーブルでは面白くないので、1機だけグリーンのイエロージャケット仕様を混ぜてみました。MS形態のトムリアットは、ビビニーデン機のつもりです。

（ジオラマ製作/佐藤文和、モデル製作協力/亀坂修弘、写真撮影/高瀬ゆうじ）



DIORAMA



▲もちろん、この「ハンドブック」が完成する前にやった作業なので、中にのっているイラストとちょっとマーキングが違います。ブーバーのビームローターは、シラけるので付けていません。



機動戦士Vガンダム

プラモデル商品リスト

チェック欄は購入の有無や、制作中、完成、等を区分してチェックできます。上手に活用してください。

スケール		品名	発売月	価格	チェック欄
■HG・EXシリーズ					
1	1/80	V2ガンダム	93.10	¥3,000	<input type="checkbox"/>
■HGシリーズ					
1	1/100	Vガンダム	93. 4	¥1,500	<input type="checkbox"/>
2	1/100	Vダッシュガンダム	93. 7	¥1,800	<input type="checkbox"/>
3	1/100	ガンプラスター	93. 8	¥1,000	<input type="checkbox"/>
4	1/100	V2ガンダム	93. 9	¥1,500	<input type="checkbox"/>
5	1/100	ゾリティア	93.11	¥1,000	<input type="checkbox"/>
■バトルMSコレクション					
1	1/144	Vガンダム	93. 5	¥500	<input type="checkbox"/>
2	1/144	ガンイージ	93. 5	¥500	<input type="checkbox"/>
3	1/144	ジェムズガン	93. 6	¥500	<input type="checkbox"/>
4	1/144	トムリアット	93. 6	¥500	<input type="checkbox"/>
5	1/144	ソロアット	93. 7	¥500	<input type="checkbox"/>
6	1/144	ジャベリン	93. 7	¥500	<input type="checkbox"/>
7	1/144	Vダッシュガンダム	93. 8	¥700	<input type="checkbox"/>
8	1/144	コンティオ	93. 8	¥500	<input type="checkbox"/>
9	1/144	V2ガンダム	93. 9	¥700	<input type="checkbox"/>
10	1/144	シャイターン	93. 9	¥500	<input type="checkbox"/>
11	1/144	ガンプラスター	93.10	¥700	<input type="checkbox"/>
12	1/144	アビゴル	93.10	¥700	<input type="checkbox"/>
13	1/144	リグシャッコー	93.11	¥500	<input type="checkbox"/>
14	1/144	武器セット	93.11	¥500	<input type="checkbox"/>

*価格は、メーカー小売価格です。尚、この価格には消費税は含まれていません。

■1/144 武器セット

武器セットにも、リアルマーキングシールが付いています。第15話以後のMS用マーキングも豊富に揃っています。

武器のパーツのほか、リアルになったグリップのバリエーションも見逃せません。



061450
535759
21
32 35 42
46 04 19
★★★★★
1/144 V2ガンダム武器セット

MODELING GUIDE

次号予告

掲載予定MS ■ LM314V21 V2ガンダム

■ RGM-121 ジャベリン

■ ZM-S06S ゾロアット

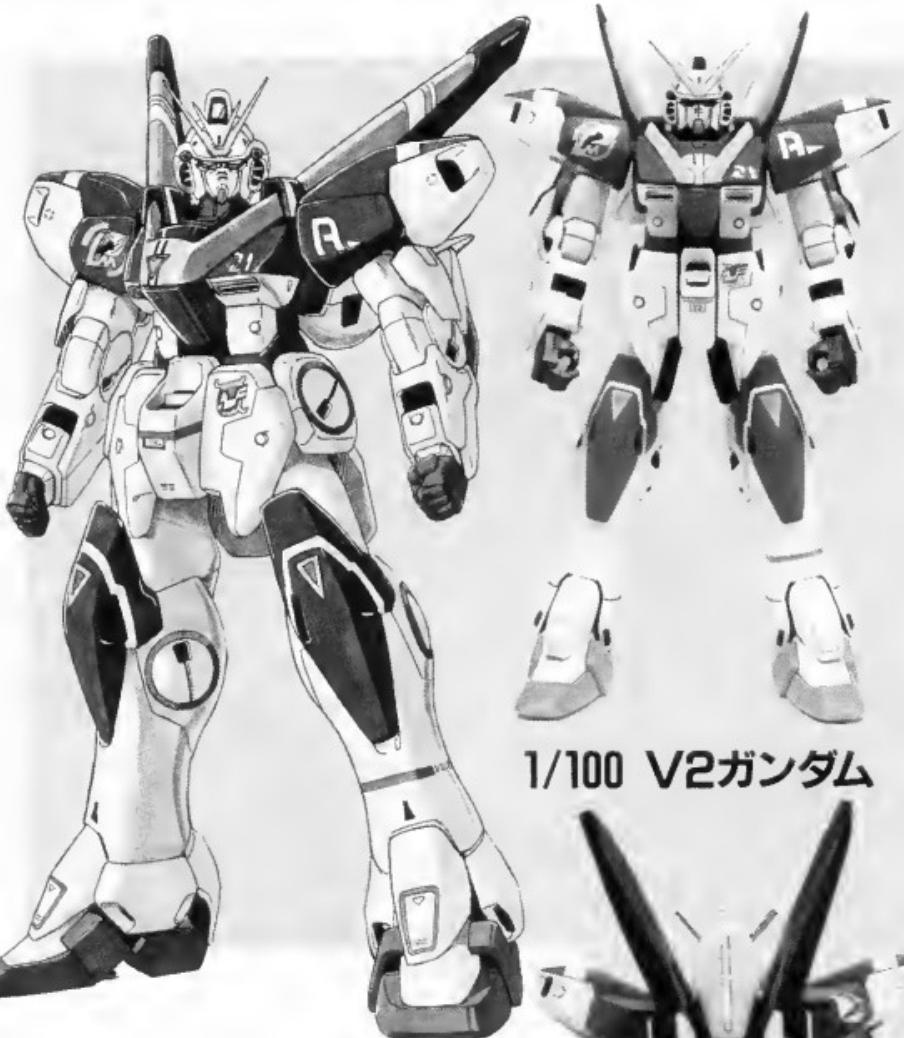
■ ZM-S14S コンティオ

■ ZM-S19S シャイターン

他ZMTナンバーの試作機も続々登場

この「ニューMSVハンドブック」に対するご意見・ご希望をお聞かせください。次号以降の参考にさせていただきます。

あて先〒111-81バンダイ ホビー事業部 ニューMSVハンドブック①係



機動戦士Vガンダム NEWモビルスーツバリエーション ハンドブック①

1993年 11月 初刷

編集・発行 株式会社バンダイホビー事業部

協力 株式会社サンライズ

表紙イラスト 大河原邦男

編集協力 安井尚志

株式会社マインド

株式会社マイク

印刷 凸版印刷株式会社

落丁、乱丁本は当社にておとりかえいたします。



**MECHANIC
DESIGN by KUNIO OHKAWARA**



ZM-S06G **ZOLLIDIA**

○モトラッド艦隊
クロノクル・アシャー
大尉塔乗機

○モトラッド艦隊所属
一般兵用



■MS SPEC

頭頂高：14.7m

本体重量：9.8t

全備重量：20.9t

装甲材質：チタン合金ネオセラミック複合材

ジェネレーター出力：5440 kW

スラスター推力：60800kg×1,20170g×1

アボジモーター数：35

武装：
ビームサーベル ×2
ビームシールド ×1
ビームライフル ×1
ハートポイント ×2

機動戦士Vガンダム

NEWモビルスーツバリエーション・ハンドブック①

株式会社バンダイホビー事業部

〒111-81 東京都台東区駒形2-5-4

TEL：03-3847-5116（直通）

647274-0042193-200

